



### 市民憲章

- |                      |                   |
|----------------------|-------------------|
| 1. 京都らしさを伝えて行く       | (伝承教育)            |
| 2. 訪問者に気軽に声をかける      | (グローバルなコミュニケーション) |
| 3. ボランティア活動に何か一つ参加する | (自分の為と京都市財政の援助)   |
| 4. 景観を良くして行く為に話し合う   | (21世紀以降に残したいもの)   |
| 5. 京都の歴史を学び外来者に伝える   | (京都のPR)           |
| 6. 個人の生活を大切にし健康を守る   | (社会は個人の健康から)      |
| 7. 働く場をたくさん作り、長く働く   | (高齢化社会に対処)        |

### デザインキー

1. 都心部45m高さを31mに、31m地域は20mに押さえる。高度集積地区洛南新都市を45mにする。⇒地下空間の利用
2. 視点を設定し景観をチェック、西・北・東展望台7ヶ所作る。街並みの京都らしさを計る。旧平安京地域を低く押さえ、山並みの景観を楽しむ。
3. 鉄道・道路の高架を無くし、地下に入れる。
4. 古い建物と新しい建物のデザインの共通性を計り、町並みに落ち着きをもたらす。
5. カラー仕上材料の種類を3タイプ程度にし(都心部)、他は自由にする。
6. 各施設の景観を生かす為に地下空間を考え、色々と地下に対し援助する。
7. 都心商業地以外の部分に緑化を計り、広い道路幅のある所は道路を緑化する。